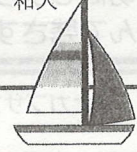




ホームページに子どもたちの様子を公開しています



## 1学期のしめくりに当たって

校長 川村 和人

7月を迎え、1学期も残り3週間となりました。日々の授業とともに、運動会や遠足・校外学習、学校公開・道徳授業地区公開講座、日光移動教室などの大きな学校行事を通して、子どもたちの頑張りや取組の様子から、一人ひとりの成長が見て取れます。

学校では、日常的に、指導と評価の一体化を意識して児童理解に当たっていますが、特に学期末には、「教えることと育てることをバランスとタイミングを考えて行う。」ということが大切であると改めて考えます。つまり、学校は、「何を教えるか」という知識の質や量の改善だけではなく、「どのように学ぶか。」という学びの質や深まりを重視しながら指導することが不可欠ということです。学校が教育活動を推進するに当たり拠り所とする学習指導要領には、次のような記述があります。

【各教科等の指導に当たっては、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力・判断力・表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させたりして、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見い出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。】(総則から一部抜粋)

一読ではなかなか理解しづらい内容ではありますが、これらの内容を本校の教育に照らし合わせ、指導と評価の一体化による児童一人ひとりの学習のお知らせが、通知表に当たります。そして、4～6年生の八王子市独自の学力定着度調査も、子どもたちが小学校で習得すべき学習の定着を図るために実施されており、結果を児童・保護者に通知しています。

そこで、今年度から通知表において、1・2年生は「できる・がんばろう」、3～6年生は「できる・だいたいできる・がんばろう」の評定について、各単元(学習内容)の観点別の評価規準と照らし合わせて、本校の実態に応じて総括的に評価する目標達成度を改定しました。

- ◎ 1・2年生の「できる」目標に対して65%以上の達成度。
- ◎ 1・2年生の「がんばろう」目標に対して65%未満の達成度。
- ◎ 3～6年生の「できる」目標に対して90%以上の達成度。
- ◎ 3～6年生の「だいたいできる」到達基準とし、目標の65%以上90%未満の達成度。
- ◎ 3～6年生の「がんばろう」目標に対して65%未満の達成度。

上記の評定を行うに際しては、各教科の習得すべき内容の学習状況について、ワークテストの結果だけで評価するものではありません。「個別及び協働的に授業や学習に取り組む態度や意欲」「基礎基本をもとに自分なりの工夫や考えをもって学習を進めたり、他の学習や日常生活に生かしたりする力」「学習の成果をノートや紙面、タブレットパソコンでまとめたり、それを発表したりする力」「各教科で基礎基本となる習得すべき学習を理解できたり、知識として定着できたりする力」などを総合的に評価したり、よいところや努力が必要なところを評定とともに学習や学級・学校での生活の様子を含め、所見で丁寧にお知らせしたりします。今後も、学校での学習への自主的な取組とともに、家庭での学習習慣の定着について、連携できますよう、ご理解とご支援をお願いいたします。



### 令和5年度 体罰防止ポスター

不適切な言動の根絶に向けて「教師の指導と言葉は子供の命と心を守り、育むためにあること」～目をかけ、声をかけ、手をかけ、心をかけ、適切に時と人をかける～5かけ指導を宣言します!

まごころこぼす指導  
しつけをしない指導はダメ

## STOP 体罰 NO 暴言

八王子市立長房小学校  
東京都教育委員会

